



朝風

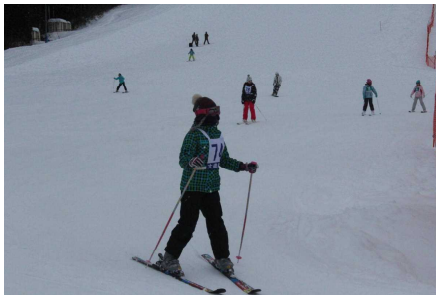
平成28年2月9日

祝 前期入学試験全員合格！！

5日金曜日に、前期入学試験の合格発表があり、本校の受験者7人全員が、見事合格しました。3年生にとってさい先のよいスタートです。今後、一般選抜を受ける生徒は、面接練習や補充学習が追い込みに入ります。健康管理には十分に気をつけ、最後まであきらめずに頑張ってもらいたいと思います。

1・2年生のスキー教室を終えて

4日に1・2年生のスキー教室が行われました。天候に恵まれ、生徒達に事故や怪我もなく、無事に終わることができました。この行事は、体育の授業の一環として行っていますが、雪国ならではのスポーツに親しむというねらいもあります。最近ではスキーをする機会も少なくなっているようですが、生徒達はすぐに慣れ、楽しんで滑っていたようです。指導者として、各学年の保護者の皆様に手伝っていただきました。お陰様で有意義なスキー教室になりました。本当にありがとうございました。



2/5 ESD/ユネスコスクール

東北コンソーシアム成果発表会に参加してきました！

5日、上記成果発表会に2年生の生徒会役員3名が参加してきました。大仙市は、東北コンソーシアム（ユネスコの東北地区拠点）に加盟しており、本校が唯一のユネスコスクールであることから、この会への参加となりました。

本校の代表は、小野寺聖真さん、佐藤芳哉さん、古谷綾子さんです。学校で取り組んでいる環境教育について堂々と発表してくれました。仙台駅隣のAERを会場として行われ、本校以外では、宮城県から気仙沼市立階上小学校と多賀城高等学校、岩手県から平泉町立平泉小学校の発表がありました。他に、NGO青森県白神山財団や仙台ユネスコ協会青年部の発表もあり、生徒達にとって視野を広げるよい機会になりました。



3年間の環境教育の学習を振り返って

3年生は、大曲南中学校の特色である環境教育を学び、感じたことや考えたことをメッセージにまとめました。その一部を紹介します。

Q あなたは、3年間の学習を通して、どのようなことに気づき、どのようなことを考えましたか？

- ★どの観点から環境を考えても「もったいない」という言葉が大事になってくると感じた。「食」では、食べ残しをすることでゴミの量が増え、それを処理するためにたくさんの燃料を使う。環境をよくすることや、発展途上国では十分に食べられないことを考えると、食べ残しをしないことが大事だと思う。(篠原亜姫)
- ★3年間の学習で、環境について多くのことを学び、考えることができた。1年生では、自然の恵みである「食物」、2年生では生活を豊かにする「エネルギー」を学び、人による理不尽な採取を絶対にしてはいけないということを知った。そして、3年生では他国との関わり、他国の状況を併せて考え、世界中の人々の意志が一つになることが大切だと考えるようになった。(栗津晃樹)
- ★「食」も「エネルギー」も有限で、人間にとって大切なものであり、地球に負荷をかけずにエネルギーを生み出すことが重要だと学んだ。3年生では、視野を世界に広げ、今各国が置かれている状況を目の当たりにし、世界の国々が国境を越えて団結しなければならないと思った。(照井優星)

Q 社会人として活躍するあなたは、どのようなことがしたいですか、また、どのようなことをしなければならぬと思いますか？

- ★人任せにしないという意識をもち、行動に移さなければ何も変わらない。例えばリサイクルなど小さなことから始めたい。自分が行動することはもちろん、一人の力だけではどうにもならないので、エコの意識を広げていくために、ネットワークが充実しているホームページなどを開設し意識を広げたい。地球を変えるのは人類だけという気持ちを一人一人が持つべきだと思う。(佐々木香美)
- ★社会人として物事をさまざまな面から見るのが大切だと思った。環境についてももっと深く考えることが必要だし、環境を守っていく上では身近にできる活動を繰り返しやることが大事だと思う。また、新しく何かやれることがないかも考えていきたい。今後の生活の中で環境に対する意識を持ち続けていきたい。(川本哲平)
- ★世界には問題がたくさんある。私は、現状を的確に知るために実際に現地を訪れたいと思う。また、日本国内でももっと話し合うべきだ。高校や大学でも環境について話し合う場はあると思うので、小・中で学んだことを発信していきたい。今、学校で行われているアルミ缶回収や節電、リサイクルなど今後も積極的に行い持続可能な社会作りに貢献していきたい。(宮野希歩)

生徒達のメッセージから、3年間の学習を通しての学びの深まり、成長を感じました。この学びが、将来に生きて働く力となってくれることを期待しています。